

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 018	提案機関名 普及指導部作物加工課
要望問題名 はるみの水稲鉄コーティング湛水直播栽培のマニュアル化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 水稲直播栽培は、平成25年度に全国で約26,000ha取り組まれており、全水稲作付面積の約1.6%を占めている。春作業の省力化(育苗、移植作業不要)が図られるため、通常の移植栽培に比べて労働時間で約2割、10a当たりの生産コストで約1割の削減効果があるとされている。 また、収穫期が1～2週間程度遅れることから、移植栽培と組み合わせることにより作業ピークが分散され、経営面積の拡大に有効である。現在水稲苗の生産において、受託組織が県下のほぼ30%を担っている。今後この受託組織構成員の高齢化により水稲苗の確保が困難になることが明らかであることから、育苗作業が不要である直播栽培は、担い手不足に対応する有効な技術として期待されている。 直播栽培における最大の課題であった出芽・苗立ちの不安定性や倒伏については技術対策が進んでいるが、気象や土壌条件に合わせたきめ細かな水管理や雑草防除が必要となるなど、誰でもできる技術とはなっていないとの指摘がある。その上、本県の奨励品種である「はるみ」については知見がない。 本県の直播栽培は、厚木市の一部の地域で湛水土中直播栽培が行われていただけであったが、鉄コーティング湛水直播の普及に伴い技術転換され、更に平塚市や小田原市等で新たに鉄コーティング湛水直播技術を導入する経営体が出てきている。 そこで、水稲湛水直播(はるみ)における鉄コーティング湛水直播適用性や除草体系について整理し、マニュアル作成にあたって技術の支援・協力をお願いしたい。 対象地域 県下水田地域 水稲鉄コーティング湛水直播栽培面積 約7.4ha	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 野菜作物研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	鉄コーティング湛水直播については、種子のコーティングや播種前後の水管理技術は確立されていますが、ご指摘のとおり品種「はるみ」では現地における倒伏性や雑草などの発生状況等の影響において不明な点があると認識しています。当所の水田ほ場では水管理上の問題から通常管理と鉄コーティング湛水直播栽培法を共存させるのは困難な状況なため、現地試験での品質調査などで協力します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			